

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	伊勢原ならではの観光魅力づくり		施策番号	21
主担当部署	部名	部長名		
	経済環境部	田中 丈司		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり
		施策展開の方向	2	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	魅力的な地域資源を最大限に活用し、伊勢原ならではの観光地づくりや歴史的なつながりのある地域との連携などにより、観光が盛んで賑わいのあるまちをつくります。 豊かな自然や文化遺産、充実した医療や子育て環境など、本市がもつ特徴的な魅力の積極的な発信により、多くの人が訪れ、暮らしてみたいと選ばれるまちをつくります。			
施策内容	大山・日向を中心とした数多くの歴史・文化遺産を活用し、伊勢原ならではの個性を磨くとともに、地域資源や観光施設などとの連携による回遊性を高め、四季を通じて多くの人を引きつける魅力ある観光地づくりを推進します。 また、大山街道に関わる地域や歴史的なつながりのある地域との連携を図るとともに、市民や事業者との協働により、地場産品を活用した体験型の企画イベントなど、新たな観光魅力づくりを推進します。			
目標とする状態	地域資源を生かした様々な交流が活発化し、1年を通じて多くの観光客で賑わっています。 交流を大切にすおもてなしの心がひろがり、国際的な観光地として、国内外から多くの人が訪れています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】		区分	
			【当初値】	【目標値】
	伊勢原に迎える観光客数		170万人	185万人
	観光客が市内で消費する観光消費額		10億円	13億円
施策を構成する「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	大山魅力再発見事業		県の新たな観光の核づくり事業の認定を受けた「平成大山講プロジェクト」を推進し、大山・日向を中心とした丹沢大山の地域振興や観光地づくりを進めます。また、温泉資源など地域資源の活用について、研究・検討を進めます。	
	日向魅力アップ事業		日向薬師など歴史・文化と豊かな自然の魅力を生かした個性的なまちづくりを進め、他地区との連携による地域の活性化を図ります。	
	観光拠点ネットワーク事業		大山街道や歴史的に関わりのある地域との交流や連携などを図り、広域観光の拡大を推進します。	
	花・歴史・健康散策コースづくり事業		四季折々の花の名勝や歴史遺跡など、おなじみのスポットから隠れた名所まで、健康づくりにも貢献する散策コースづくりや交流拠点の充実を図り、様々な資源と連携した観光の活性化を進めます。	

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段：達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	伊勢原に迎える観光客数	170万人	185万人	↗	1,819,990人 98.4%	1,708,974人 92.4%	1,914,101人 103.5%	1,940,000人 104.9%
観光客が市内で消費する観光消費額	10億円	13億円	↗	1,308,568千円 100.7%	1,929,468千円 148.4%	2,103,140千円 161.8%	2,200,000千円 169.2%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	11,160	千円	25,218	千円	41,215	千円	44,149	千円	12,923	千円
	人件費合計(b)	16,800	千円	17,600	千円	17,400	千円	17,400	千円	17,400	千円
	トータルコスト(a)+(b)	27,960	千円	42,818	千円	58,615	千円	61,549	千円	30,323	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図			その他の市民ニーズ、意見		
	満足度	施策の値	0.48		↑ 重要度 ↓	A B C D	A B C D	優先的課題 選択的課題 ニーズ充足 現状維持	C	<ul style="list-style-type: none"> 多くの歴史的資産、豊かな自然環境という魅力を、さらに効果的に情報発信してほしい。 交通環境、駐車場整備など受入体制の整備を更に進めるとともに、観光客の滞在時間の延長につながるような施設(例:温浴施設)についても検討してほしい。 以前に比べ観光による賑わいは感じるが、観光客が伊勢原でお金を使ってもらうための工夫が必要である。
		平均値	0.32							
	重要度	施策の値	1.23							
平均値		1.20								

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	21-101	大山魅力再発見事業	入込観光客数	103万人	108万人	111万人	◎	商工観光振興課
2	21-102	日向魅力アップ事業	日向地区の企画イベント数	1回/年	5回/年	3回/年	△	商工観光振興課
3	21-103	観光拠点ネットワーク事業	広域周遊イベント数	-	3回	6回	◎	商工観光振興課
4	21-104	花・歴史・健康散策コースづくり事業	花・歴史・健康散策コースの設定数	-	8コース	15コース	◎	商工観光振興課
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	21-101	大山魅力再発見事業	A	A	A	A	A	商工観光振興課
2	21-102	日向魅力アップ事業	B	-	B	A	A	商工観光振興課
3	21-103	観光拠点ネットワーク事業	A	A	A	A	A	商工観光振興課
4	21-104	花・歴史・健康散策コースづくり事業	A	A	A	A	A	商工観光振興課
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check) へ

評 価 (Check)

指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)	A	左記判断理由	平成大山講プロジェクトによる近隣市や民間事業者との連携によるプロモーション、商店街ツアーや日向地区のコスプレイベントなど民間主体の新たなイベントの効果などにより、観光客数、観光消費額ともに目標値を達成している。
「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い(A) <input type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)	A	取組による成果	平成25年に県の新たな観光の核づくり候補地に認定されて以来、地元や関係機関、近隣自治体と広域な連携を図り、平成大山講プロジェクトにより国際観光地に向けて様々な取組を進めてきた。その結果、平成27年6月には大山が「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で紹介されるなど、メディアへの露出も増え、認知度も上がってきた。
市民意識の反映 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 反映している(A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)	B	左記判断理由	市民意識調査の結果では、満足度、重要度とも平均点を上回る結果となったが、重要度は平均をやや上回る程度となった。観光魅力づくりについての市民認識は高まっているが、渋滞対策などの課題の解決や観光客の増加を市全体の活性化につなげる取組の必要性についての意見も寄せられており、本施策の更なる推進が必要であると考えられる。
施策を取り巻く環境変化	平成25年に1,000万人を超えた訪日外国人の動向は、平成27年には1,973万人に達し、大幅に増加している。平成27年6月には大山が「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で紹介され、本年4月には、「大山詣り」のストーリーが日本遺産に認定され、さらに本年秋には日向薬師の本堂の改修が完了するなど、本市の持つ魅力を国内外に発信する機会が増大している。また、比々多地区において地域住民等主体に比々多観光振興会が設立された。			
施策推進上の課題	日本遺産の認定や新たな観光の核づくり事業によるこれまでの成果を踏まえ、駐車場の確保や渋滞対策等の観光客の受入環境の整備に引き続き取り組み、外国人観光客の急激な増大や交通条件の飛躍的な向上を観光振興に結びつけていく必要がある。また、観光客の滞在時間の拡大を図るためには、地域内や他地域との連携による周遊性の確保が必要である。			

↓ 施策の改善 (Action) へ

施策の方向性 (Action)

今後の方向性の判断	取組の方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 拡大して実施 <input type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し	左記判断理由	日本遺産に認定された「大山詣り」のストーリーなどの地域資源を最大限に活用するとともに、外国人を含めた観光客の受入環境の整備を充実する。また、他市との広域連携を強化するとともに、市民や事業者との協働による地域全体のおもてなし力の向上を図る。
	施策の方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し	左記判断理由	観光が盛んで賑わいのあるまちをつくるため、四季を通じて各地区の観光資源を活かし、多くの人を引きつける魅力ある観光地づくりを引き続き実施する。